

は じ め に

『2年後の2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界中の人々が日本に集まるこの大会以後、グローバル化や情報化はより一層発展・加速…』これは、平成30年度（2018年度）、本校で行われた、東広島市教育推進指定校研究冊子の「はじめに」の書き出しの文章です。オリンピックやパラリンピックが延期するなど、この時、誰が予測できたでしょう。そして、春四月、国の非常事態宣言、全国の学校の一斉休業や全国規模の大会や各諸行事の中止や延期と、様々な制約を余儀なくされたスタートでした。

その中において、本校の研究も当初進めていたテーマを大きく変更しました。コロナ禍において、学びを止めない学習『GIGA スクール構想』による ICT 教育の推進に取り組むことにしたのです。本校が付けたい力の資質・能力や対話的な学びを確実に付ける授業のためのツールとして、ICT を活用した授業の模索を始めました。

昨年度は、外国語活動を主軸にして国語科・算数科・生活科において『主体的・対話的で深い学び』からの視点で、授業改善の研究を深めていきました。

今年度は、研究教科を外国語科、国語科、算数科にしぼり、「主体的に学び、進んで表現する児童の育成」という研究主題のもと、サブテーマを『ICT 機器を活用した対話的な学びの創造』としました。新学習指導要領の全面実施ということもあり、教材研究をしっかりと行いながらの研究でした。教師が ICT を活用して、どうすれば思考力や表現力を高めることができるか、価値ある授業を創ることができるか等、教科の特性を考えながら、試行錯誤の連続でした。

遅々たるあゆみの研究ではありますが、皆様方の忌憚のないご意見をお聞かせいただき、今後の研究の課題と具体的な方策を明らかにしていきたいと考えております。

最後になりましたが、これまで本校の研究推進にあたり、ご指導いただきました東広島市教育委員会の先生方に心よりお礼申し上げます。

令和3年1月吉日



東広島市立東西条小学校
校 長 倉 田 恵 里

目次

はじめに

I 研究の概要

研究の概要	P.	1
-------	----	---

II 研究の実際

外国語活動・外国語科	P.	9
国語科	P.	29
算数科	P.	49

III 研究の成果と課題

仮説の検証	P.	87
ICT 機器の活用	P.	93
まとめ	P.	99

IV 別添資料

- ①東西条小学校 CAN-DO リスト
- ②オンライン学習マニュアル

おわりに

ご指導いただいた先生方・研究同人